



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

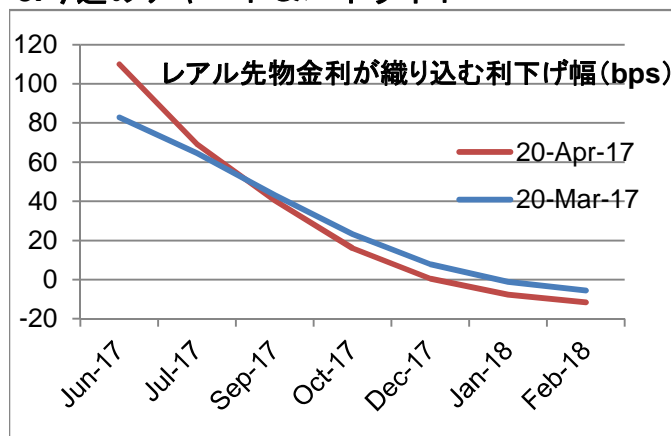
			4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1000	3.1080	3.1530	3.1470	-0.0060
	BRL/JPY	Spot	35.12	34.89	34.53	34.74	+0.21
	EUR/USD	Spot	1.0652	1.0729	1.0711	1.0719	+0.0008
	USD/JPY	Spot	108.89	108.45	108.87	109.32	+0.45
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.94	9.85	9.84	9.81	-0.0250
	Future	1Year(p.a.)	9.44	9.32	9.37	9.36	-0.0175
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.045	1.941	1.961	1.994	+0.033
	USD	1Year(p.a.)	2.173	2.069	2.089	2.126	+0.037
株式	Bovespa指数		64,334.93	64,158.84	63,406.97	63,760.62	+353.65
CDS	CDS Brazil 5y		225.40	226.93	227.86	226.94	-0.92
商品	CRB指数		187.392	186.545	183.918	183.04	-0.880

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3月末以来の水準となる3.16台へ下落。
- 週初のレアルは3.1450で寄り付いた。伯中銀がドル売りポジションのロールオーバーを再開したことで週前半のレアルは堅調に推移。高値3.0880まで上昇したが、先週開催されたCOPOM議事録の内容がハト派な内容となったことで上値が重くなった。週中には米エネルギー情報局の週間統計を受けてWTI先物が大幅下落。資源国通貨が売られる中でレアルは3.15台まで下落した。週後半にかけてはムニューシン米財務長官による税制改革案の提示に近いとの発言を受けてドルが上昇。レアルは安値3.1690まで売られたが、引けにかけては買い戻しが進み、結局3.1470で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.41%から0.40%へ小幅下方修正、2018年は2.50%で据え置かれた。インフレ率予想は2017年が4.09%から4.06%へ、2018年は4.46%から4.39%へ下方修正された。為替レートは2017年末が3.23で据え置き、2018年末は3.37から3.40へレアル安方向に修正された。
- 伯中銀は17日にドル売りポジションのロールオーバーを再開した。ロール金額は1日あたり8億ドル相当。このペースが続けば約63.9億ドルだった今月末期日のポジションは全てロールオーバーされ、期日到来に伴うドルの買戻しは発生しない。
- 18日に公表されたCOPOM議事録(4月11日、12日開催分)は、次回5月末の会合においても1.00%の利下げ幅が維持されることを示唆。市場では想定よりもハト派の内容と捉えられた。
- 今週も年金改革案を巡る混乱が継続。18日には改革案に反対する警察官グループが下院議会に侵入しようとして議会のガラスを破壊する騒ぎが発生。政府は当初60歳に定めるとしていた警察官の年金受給開始年齢を55歳に引き下げた。
- 尚21日は祝日のため市場はクローズ。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



出所：Bloomberg

## COPOM議事録を受けて利下げ幅の見通しが拡大

18日、先週開催されたCOPOMの議事録が公表された。数人のCOPOMメンバーは現在の落ち着いたインフレ期待を背景に金融緩和を強化することが可能とした。一方、現在継続しているリスク要因を踏まえれば1.00%の利下げペースを維持することが妥当との議論がなされ、年金改革の進捗が重要な要素であるとの見方を示した。次回会合(5月30日、31日開催)に向けて少なくとも1.00%の利下げ幅が維持されるとの見方を強める内容で、金利先物市場が織り込む次回会合での利下げ幅は議事録公表前の1.03%から拡大。20日時点で1.09%の利下げが織り込まれている。



## 4. 来週の為替市場注目点

## 予想ドル・リアル相場レンジ：3.10－3.20

来週のリアルは年金改革を巡る不透明感や汚職捜査拡大への警戒感を背景に上値の重い展開を予想する。年金改革については当初の原案から多くの内容が譲歩されつつあることで、支出削減効果は期待された水準の50-60%程度まで低下するとの見方も出ている。不透明感が強まる中、政府による改革案の議会承認に向けた動きに注意を要する。

## 5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.44%	0.43%	0.31%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	4.48%	4.41%	4.73%
ブラジル	登録雇用創出合計	5000	-63624	35612
米	新規失業保険申請件数	240k	244k	234k
米	失業保険継続受給者数	2024k	1979k	2028k
米	フィデリティ連銀景況	25.5	22.0	32.8
米	先行指数	0.2%	0.4%	0.6%

## 6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	4/24	Federal Debt Total	Mar	--	3135b
ブラジル	4/25	経常収支	Mar	\$500m	-\$935m
ブラジル	4/26	FGV消費者信頼感	Apr	--	85.3
ブラジル	4/26	FGV建設コスト(前月比)	Apr	0.00%	0.36%
ブラジル	4/26	ローン残高(前月比)	Mar	--	-0.1%
ブラジル	4/26	個人ローンデフォルト率	Mar	--	5.9%
ブラジル	4/27	FGVインフレIGPM(前年比)	Apr	3.44%	4.86%
ブラジル	4/27	PPI 製造業(前月比)	Mar	--	-0.26%
ブラジル	4/27	中央政府財政収支	Mar	-9.0b	-26.3b
ブラジル	4/28	全国失業率	Mar	13.7%	13.2%
ブラジル	4/28	基礎的財政収支	Mar	-10.5b	-23.5b
ブラジル	4/28	Nominal Budget Balance	Mar	--	-54.2b
ブラジル	4/28	純債務対GDP比	Mar	--	47.4%
米	4/28	GDP(年率/前期比)/速報値	1Q	1.2%	2.1%
米	4/28	ミシガン大学消費者マインド*	Apr	98.4	98.0

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。